

スピリチュアル物語

167話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

Skypeセッション 1時間\$75 90分\$110

メール相談 簡易コース\$11 / 通常コース\$33



「様々な気質の融合こそが真のOneness…」ウィザットが頷く。「そうじゃ、真のOnenessは皆が同じ、右に倣えということではなく、それぞれのことではないから生まれる調和じゃ。この世に色取り取りの色彩や様々な音色がある様に、人もそれぞれに違う波動を持っている。その個性一つひとつが融合して人類というものが構成されておるんじゃ。言語や文化・風習・信じるものが違っていても、その違いをお互いに認め合い、尊重する姿勢を持つことで、違いが調和を奏でるんじゃない」マグワートの言葉に「同調するっていうこ

とですか？」マジョリアルが質問すると、「完全に同調出来ない場合は？」ウィザットが口を挟む。「その場合は、お互いに無理に同調を強要せず、歩み寄ったり、折り合いを付けたり、時には譲歩や妥協という形にもなるかも知れないが、いずれにせよ相手のことを攻撃したり支配することなく、お互いを同等に扱おうというスタンスが重要じゃ。しかしながら、160話〜165話の中で、共感力とそれに伴ったEmpathicとEmpathicに関する話をしてきたが、共感力が高過ぎる場合、空気を読み過ぎて集団が発している

同調圧力に支配されてしまうこともあるが、健全な調和を維持する為には、お互いに圧力をかけたりかけられなかったりしていないかに常に留意している必要がある」「同調圧力？」「集団に於いて、少数意見を持つ人に対し、多数意見側が自分達と同じ意見を持つ様に暗黙の内に、また時にはあからさまに強要することじゃよ。共感と同調圧力は全くの別物じゃ」



★これまでのお話(1~166話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 8月12日号につづく